

8 生涯学習について

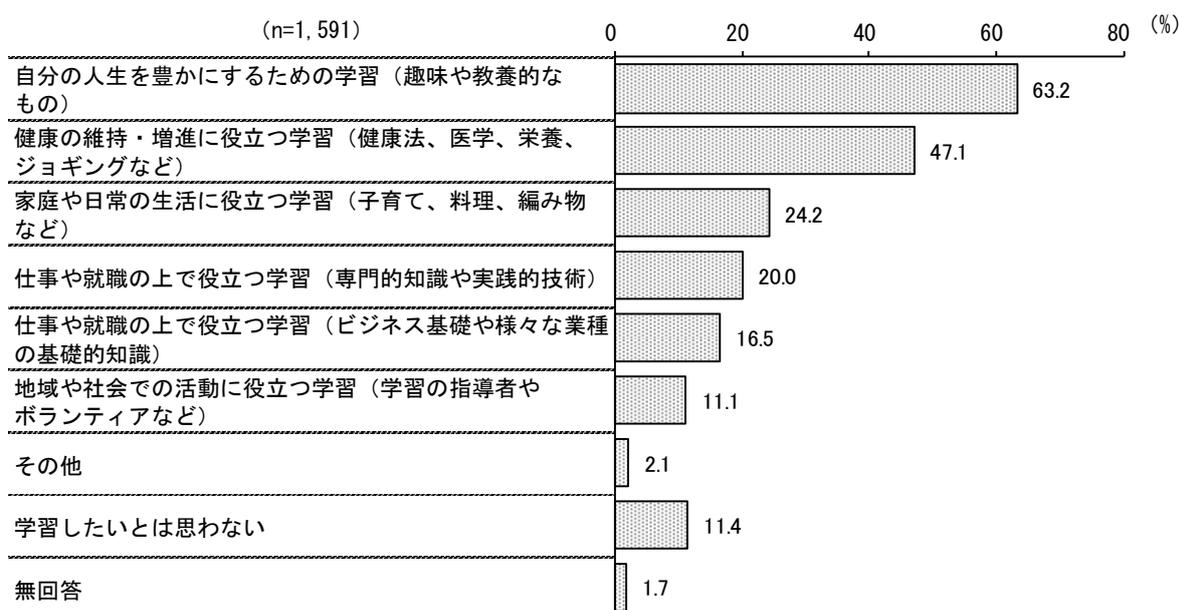
(1) 今後学習したいと思うこと

◇「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」が6割を超える

県では、人生100年時代到来や技術革新など、社会が大きく変化する中、新しい時代に合った生涯学習を推進していくため、今後の施策の方向性を検討しています。

問33 あなたは、今後、学習したいと思うことはありますか。この中からいくつでもあげてください。（〇はいくつでも）

＜図表8-1＞今後学習したいと思うこと（複数回答）



今後、学習したいと思うことを聞いたところ、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」(63.2%)が6割を超えて最も高く、以下、「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」(47.1%)、「家庭や日常生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）」(24.2%)、「仕事や就職の上で役立つ学習（専門的知識や実践的技術）」(20.0%)が続く。

一方、「学習したいとは思わない」(11.4%)が1割を超えている。（図表8-1）

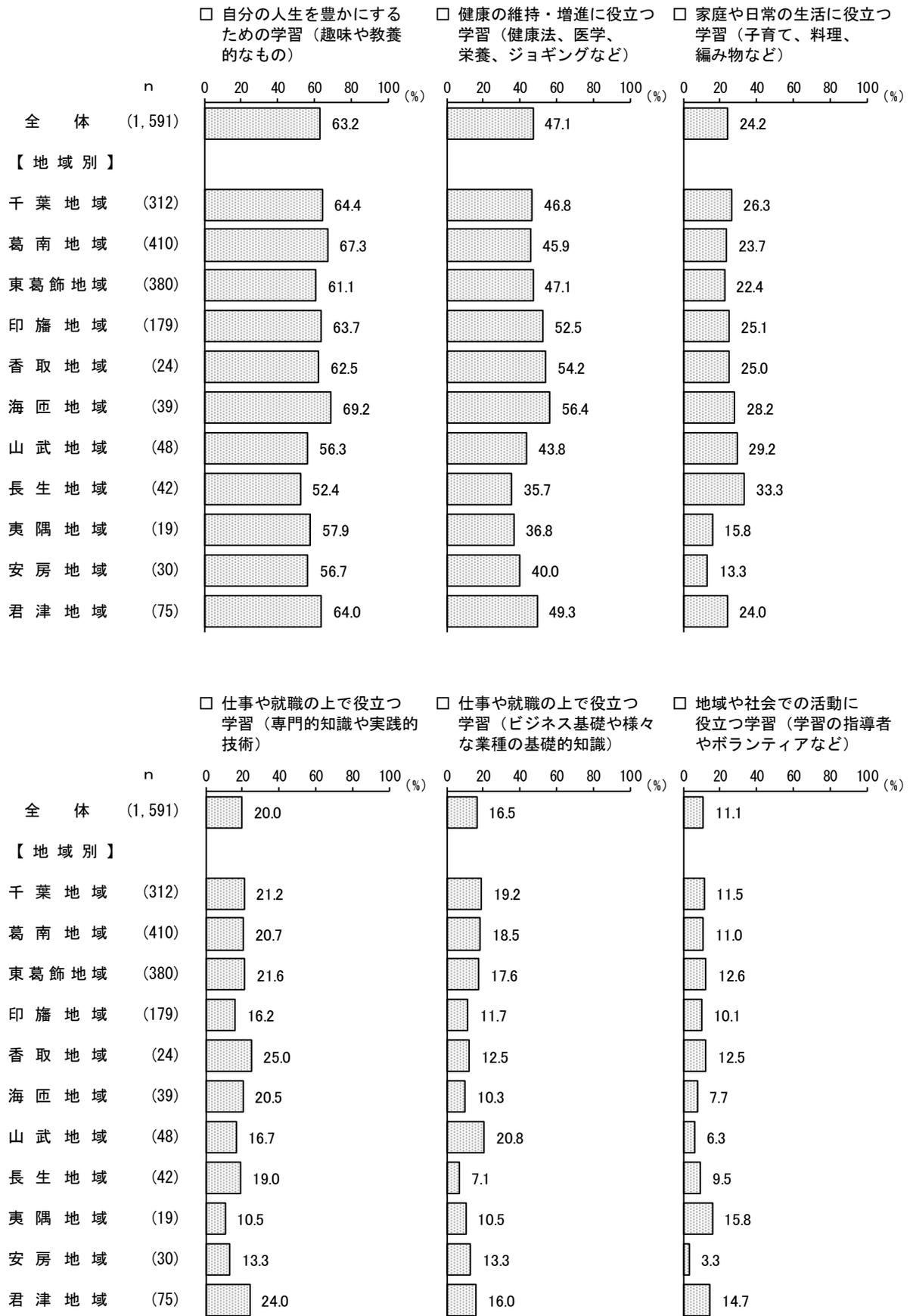
【地域別】

地域別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は“葛南地域” (67.3%)が約7割で高くなっている。（図表8-2）

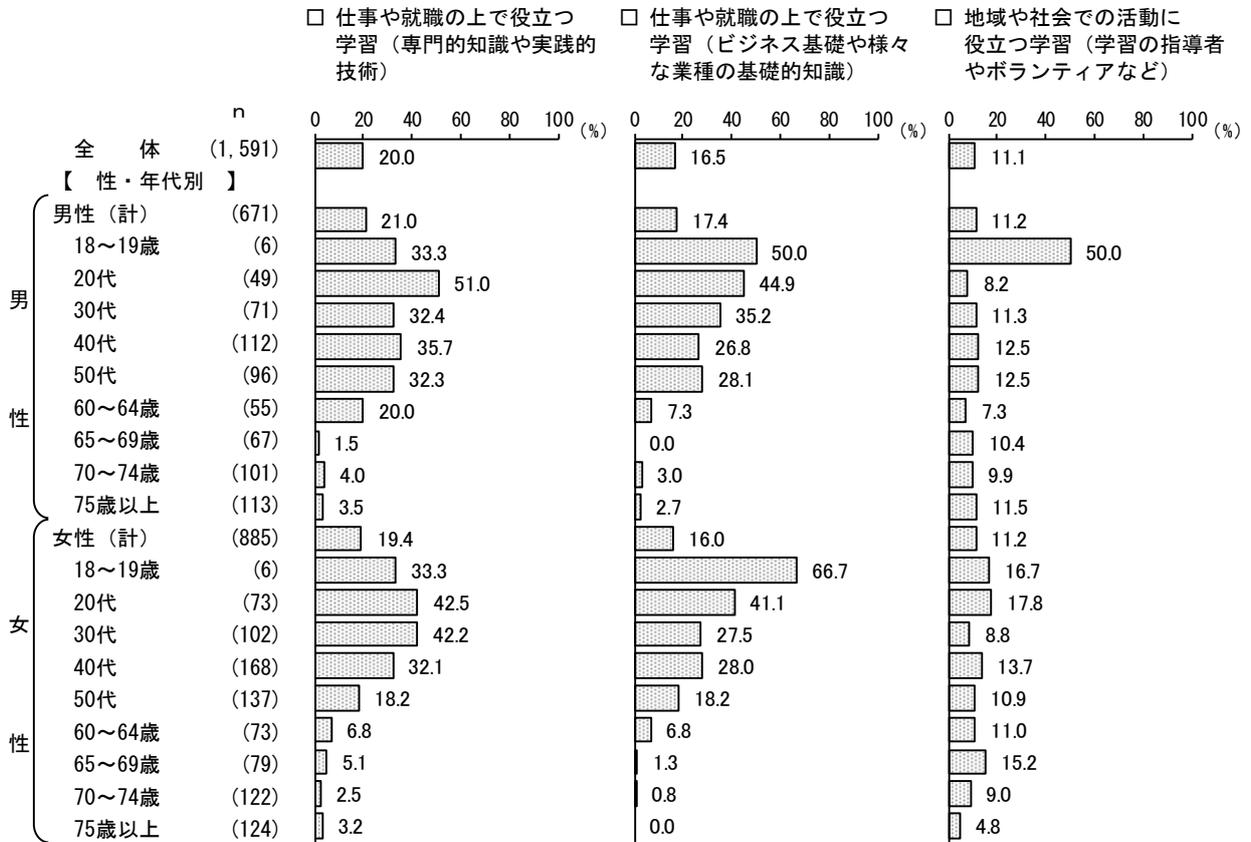
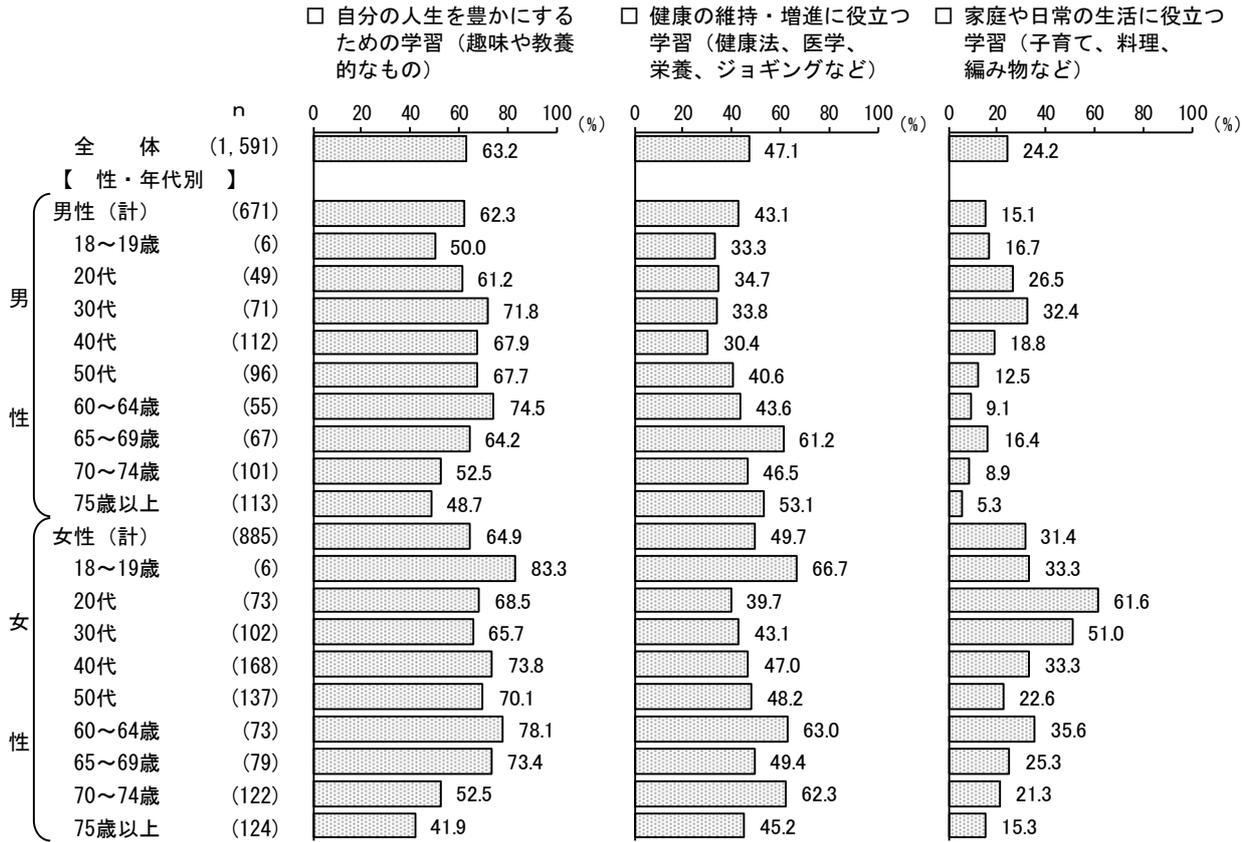
【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は女性の60～64歳 (78.1%)が約8割、女性の40代 (73.8%)が7割台半ばで高くなっている。「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」は男性の65～69歳 (61.2%)、女性の60～64歳 (63.0%)、女性の70～74歳 (62.3%)が6割を超えて高くなっている。（図表8-2）

<図表8-2> 今後学習したいと思うこと（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



第63回県政に関する世論調査（R4年度）



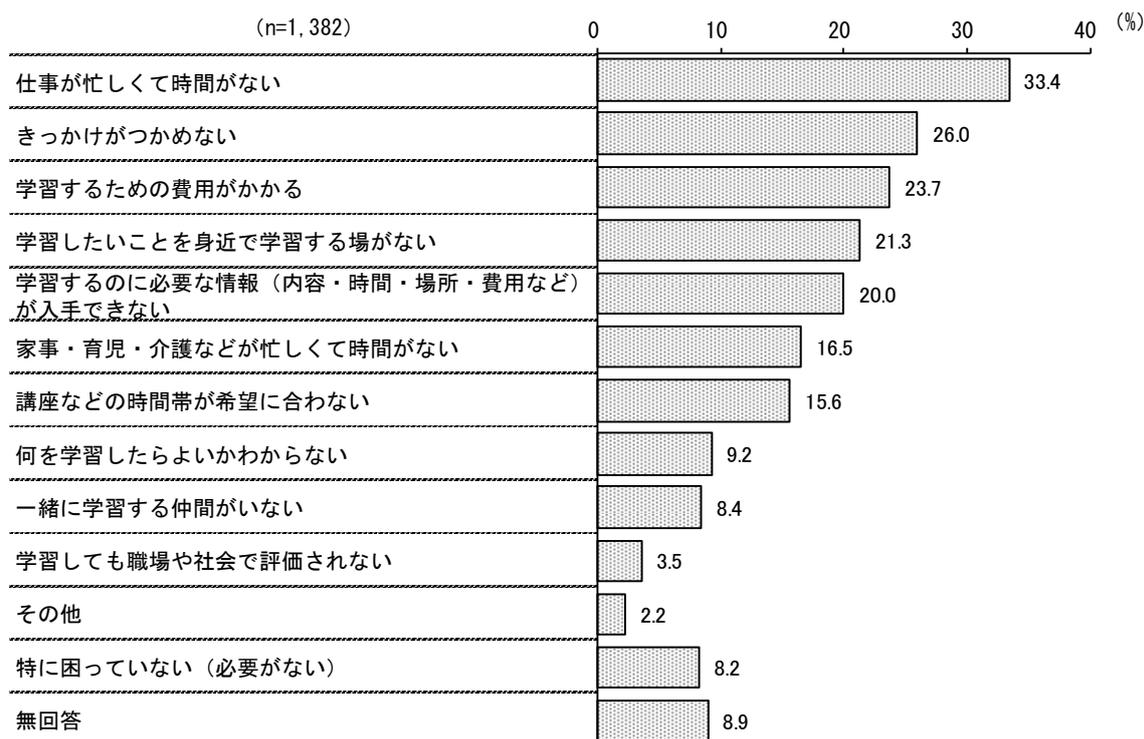
（1-1）学習する上で困っていること

◇「仕事が忙しくて時間がない」が3割を超える

【問33で「学習したいとは思わない」以外を回答した方】

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。（問33で「学習したいとは思わない」と回答した方は、学習したいとは思わない理由をお答えください。）（〇はいくつでも）

＜図表8-3＞学習する上で困っていること（複数回答）



「学習したいとは思わない」以外を回答した1,382人に、学習する上で困っていることを聞いたところ、「仕事が忙しくて時間がない」（33.4%）が3割を超えて最も高く、以下、「きっかけがつかめない」（26.0%）、「学習するための費用がかかる」（23.7%）、「学習したいことを身近で学習する場がない」（21.3%）が続く。

一方、「特に困っていない（必要がない）」（8.2%）が約1割となっている。（図表8-3）

【地域別】

地域別にみると、「きっかけがつかめない」は“長生地域”（43.3%）が4割を超えて高くなっている。（図表8-4）

【性・年代別】

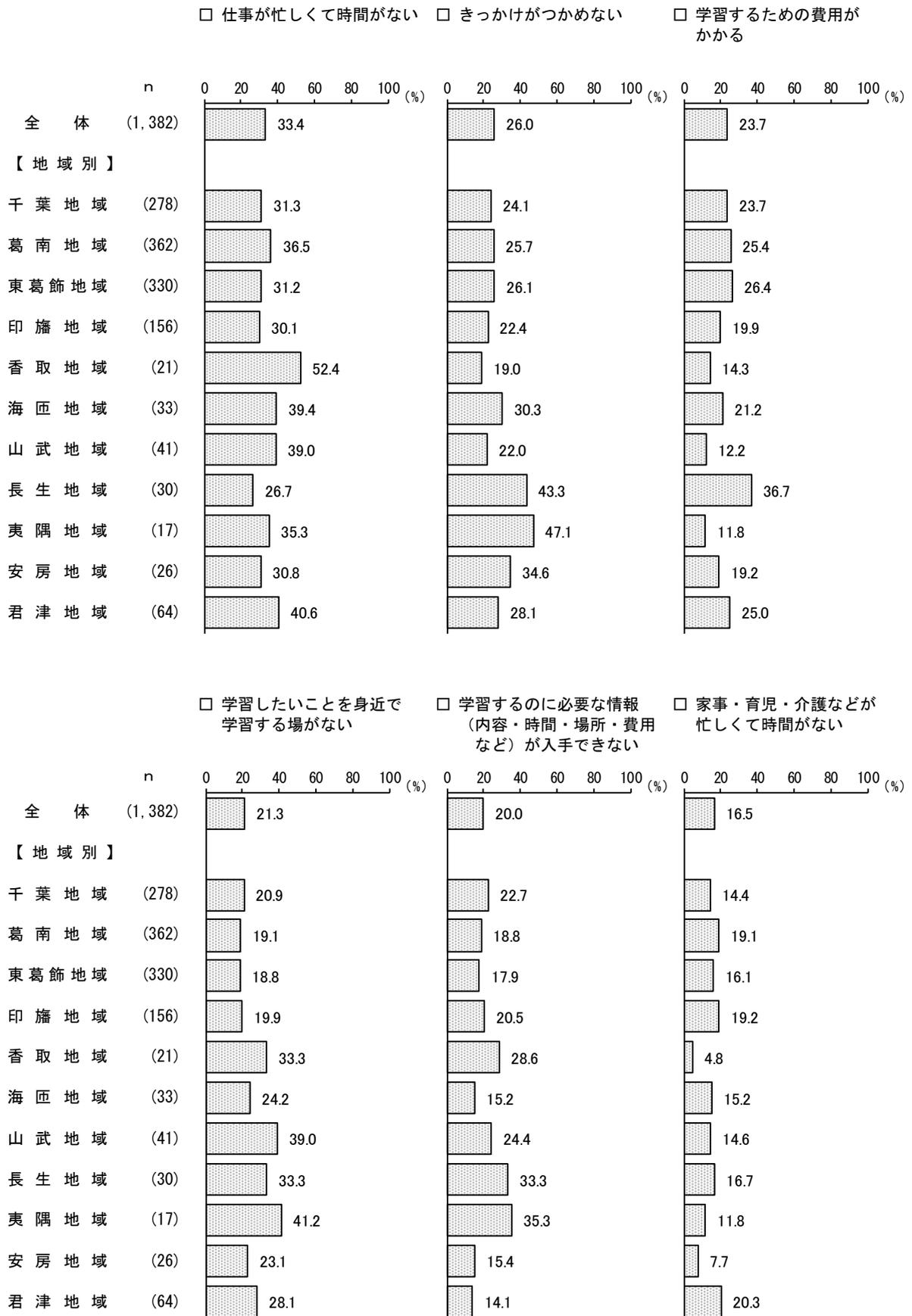
性・年代別にみると、「仕事が忙しくて時間がない」は男性の20代（54.2%）、男性の30代（54.5%）、男性の40代（56.6%）が5割台半ば、女性の20代（52.9%）が5割を超え、男性の50代（50.0%）が5割、女性の40代（46.9%）と女性の50代（44.1%）が4割台半ばで高くなっている。

「きっかけがつかめない」は男性の65～69歳（40.4%）が4割、男性の60～64歳（39.6%）が約

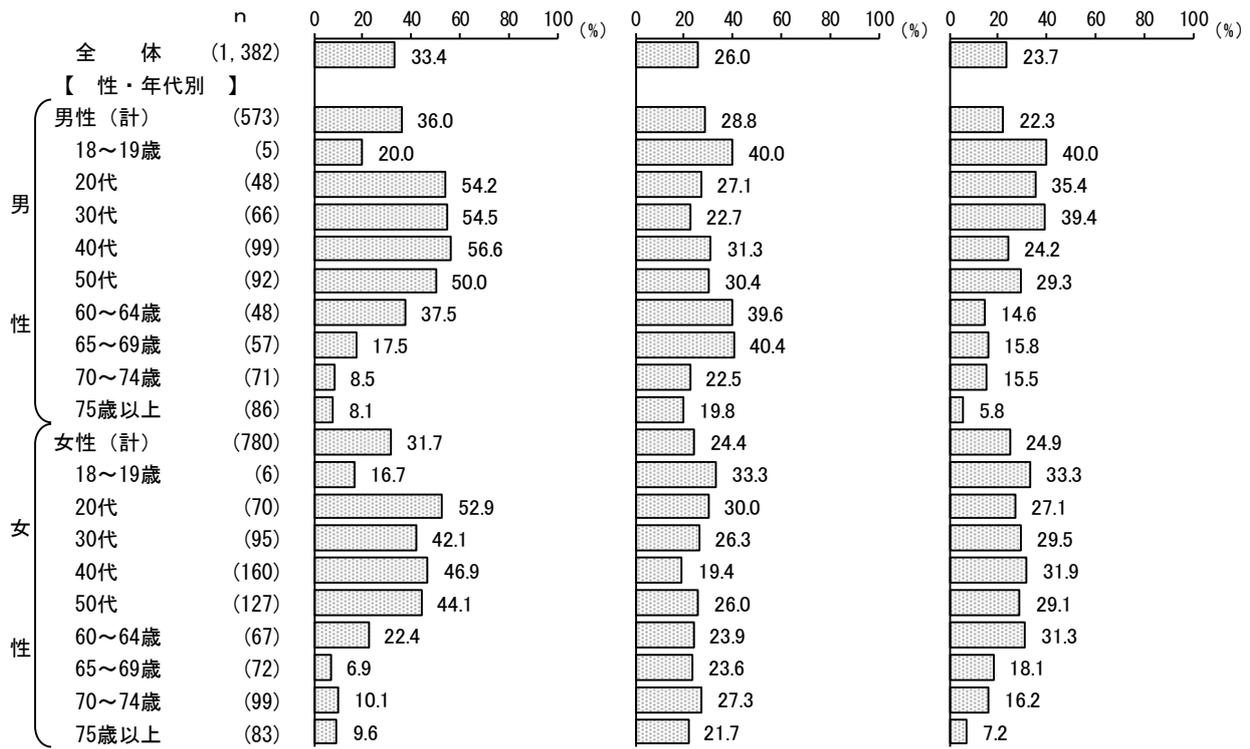
4割で高くなっている。

「学習するための費用がかかる」は男性の30代（39.4%）が約4割、女性の40代（31.9%）が3割を超えて高くなっている。（図表8-4）

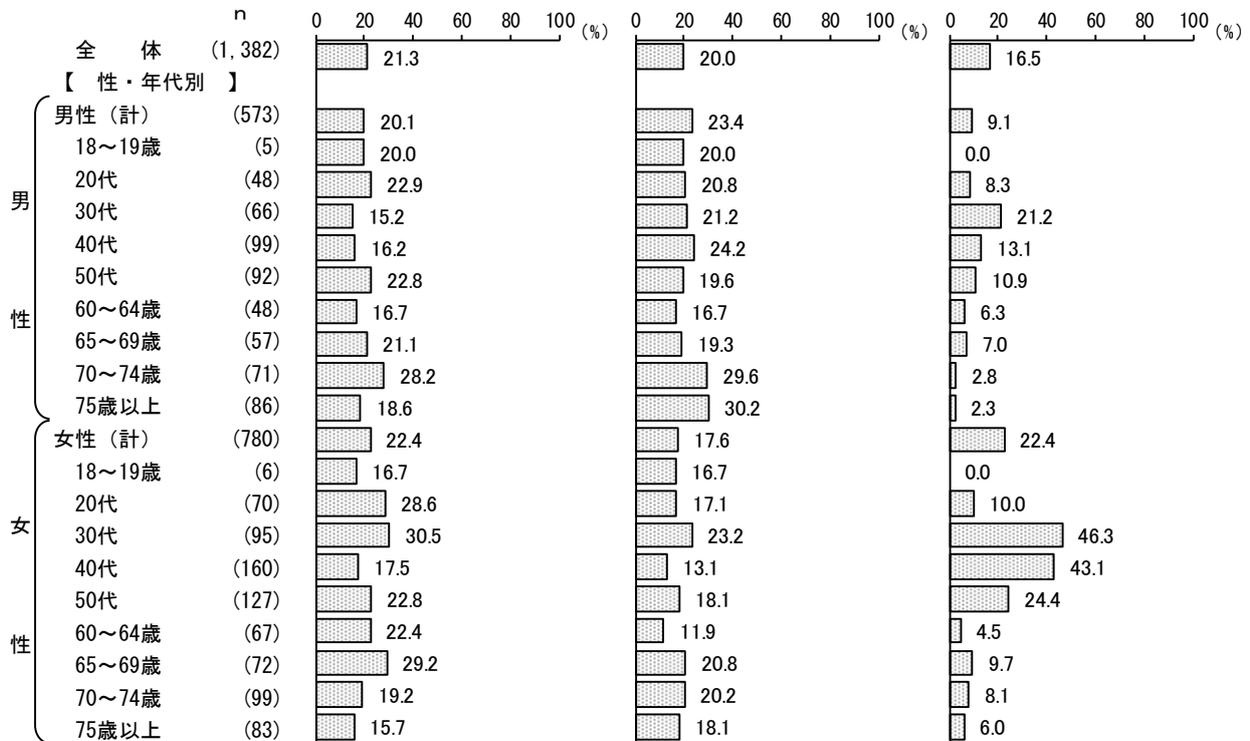
<図表8-4>学習する上で困っていること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



□ 仕事が忙しくて時間がない □ きっかけがつかめない □ 学習するための費用がかかる



□ 学習したいことを身近で学習する場がない □ 学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用など)が入手できない □ 家事・育児・介護などが忙しくて時間がない



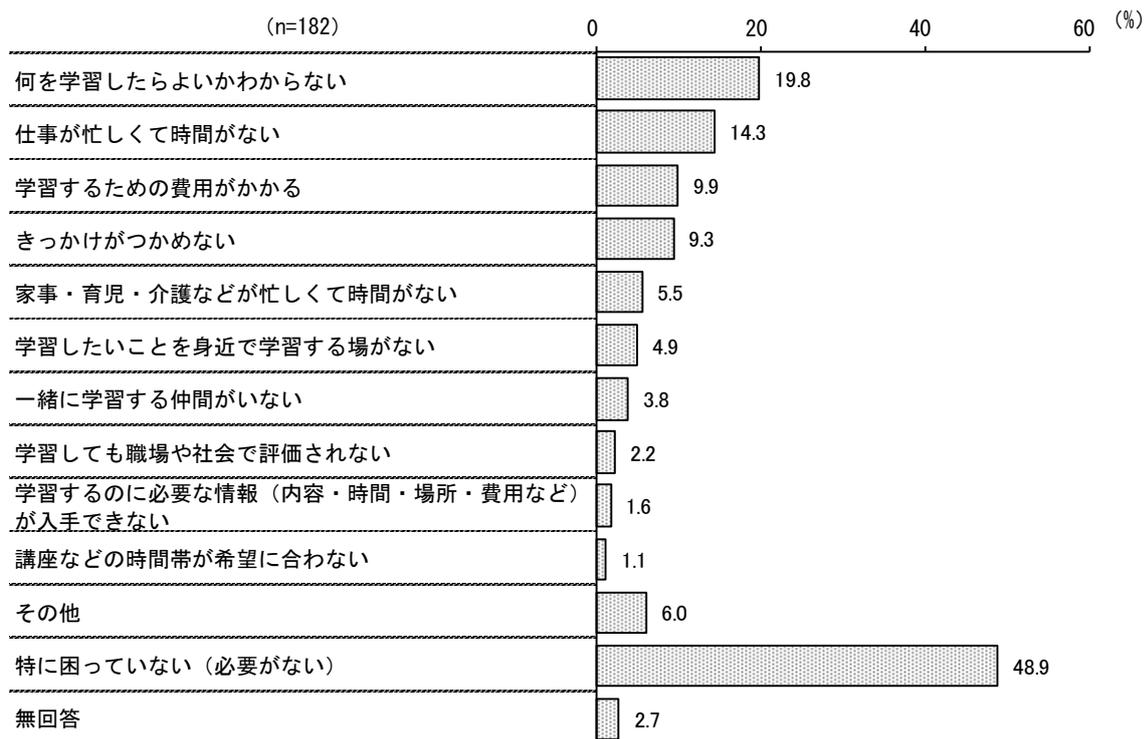
（1－2）学習したいと思わない理由

◇「何を学習したらよいかわからない」が約2割

【問33で「学習したいとは思わない」を回答した方】

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。（問33で「学習したいとは思わない」と回答した方は、学習したいと思わない理由をお答えください。）（〇はいくつでも）

＜図表8－5＞学習したいと思わない理由（複数回答）



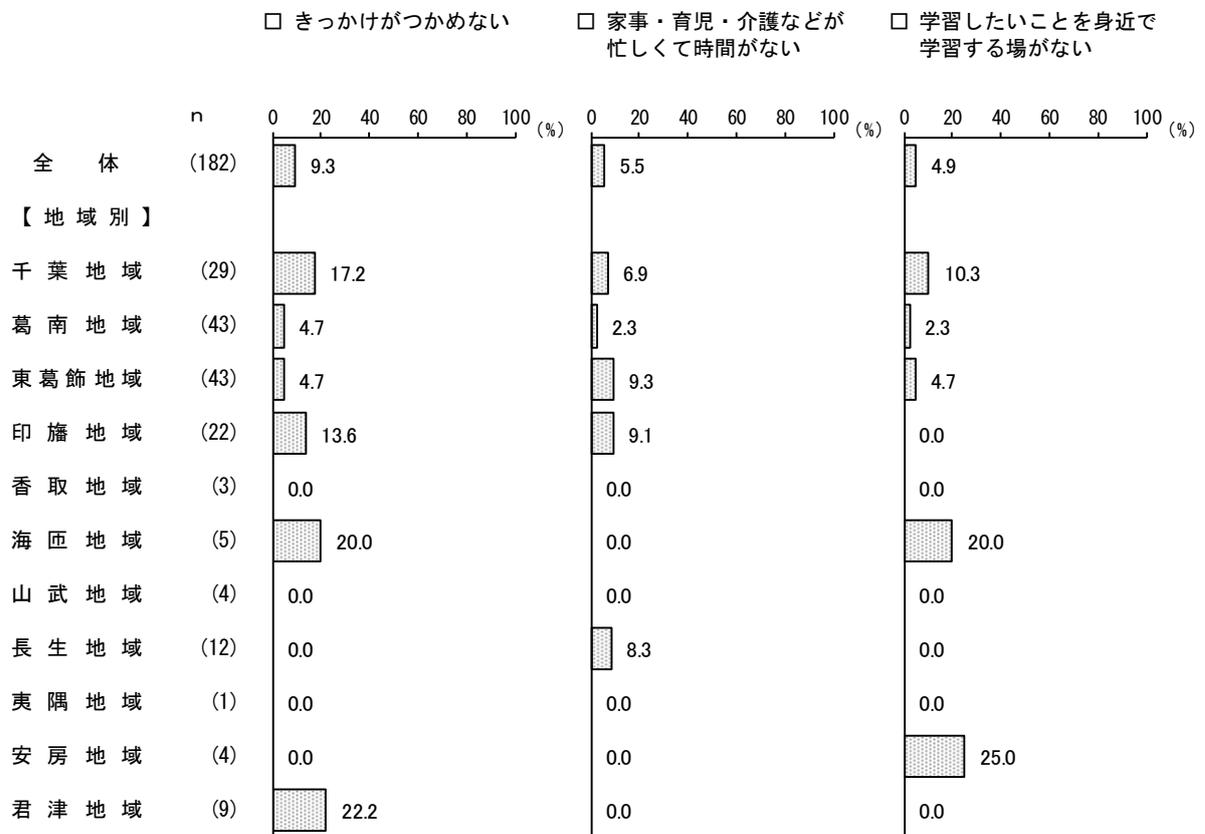
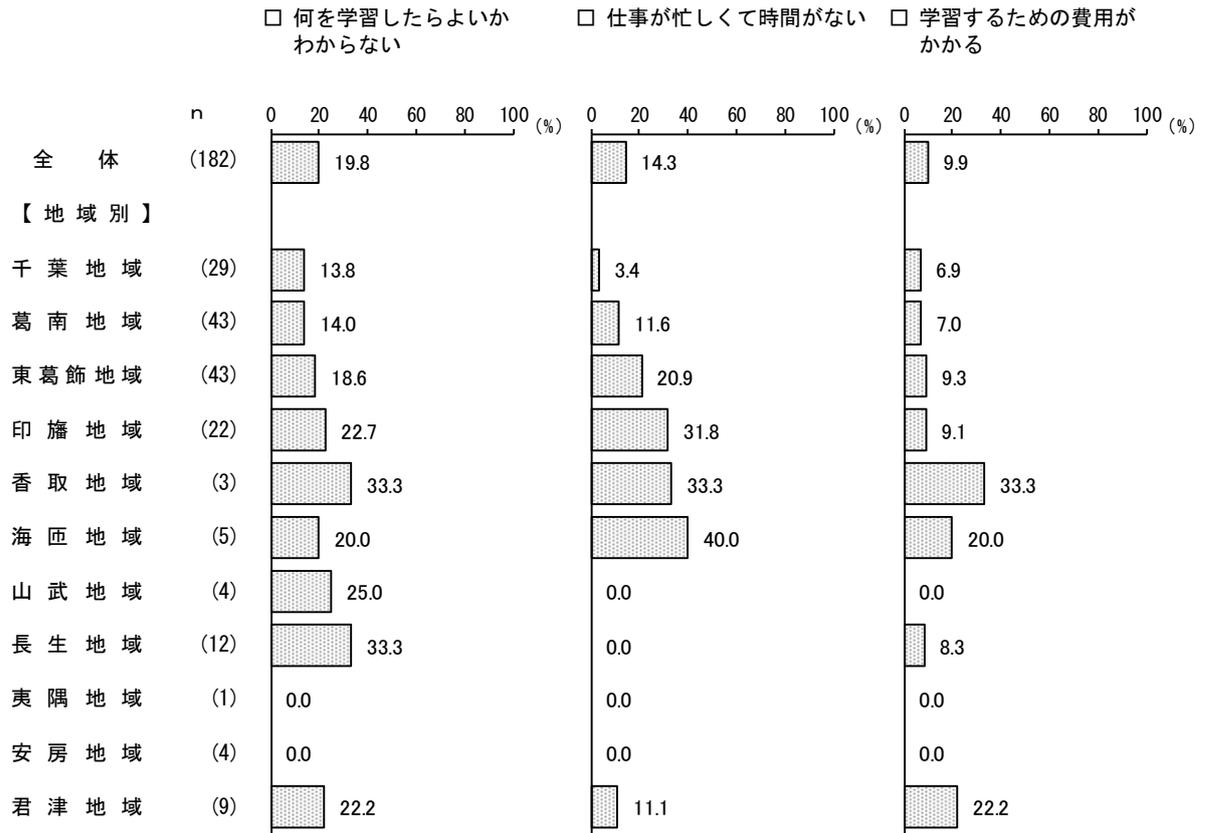
「学習したいとは思わない」と回答した182人に、学習したいと思わない理由を聞いたところ、「何を学習したらよいかわからない」（19.8%）が約2割で最も高く、以下、「仕事が忙しくて時間がない」（14.3%）、「学習するための費用がかかる」（9.9%）、「きっかけがつかめない」（9.3%）が続く。

一方、「特に困っていない（必要がない）」（48.9%）が約5割となっている。（図表8－5）

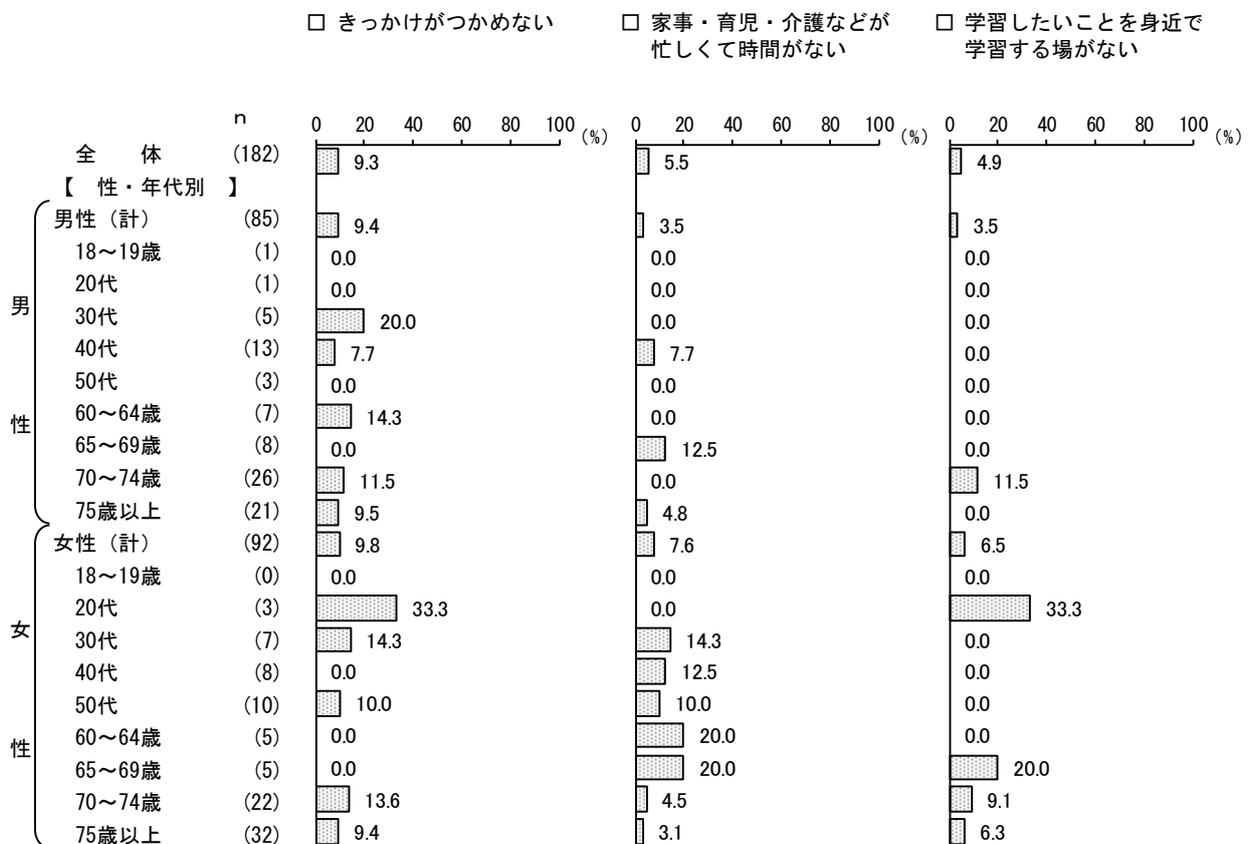
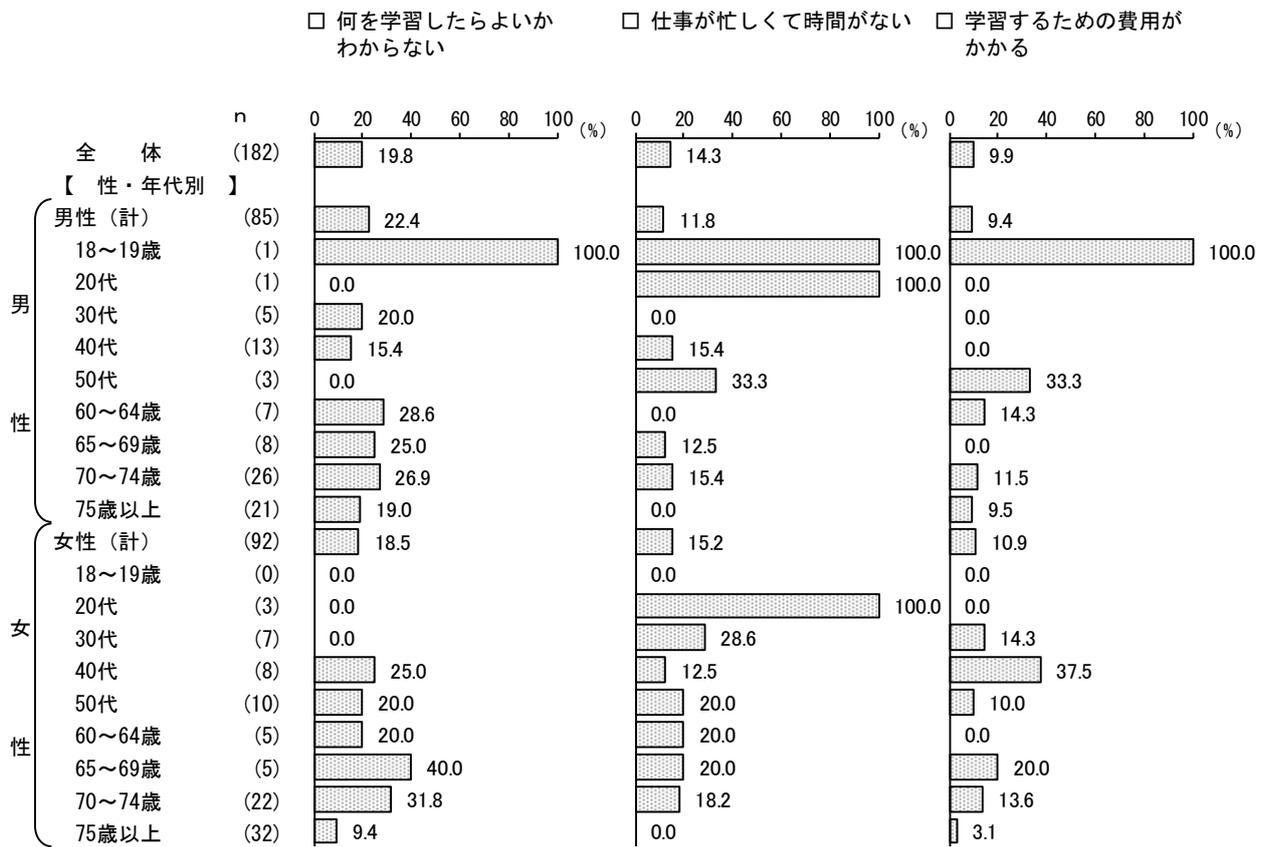
※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（8ページ「報告書の見方（5）」を参照）（図表8－6）

[参考] <図表8-6>学習したいと思わない理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

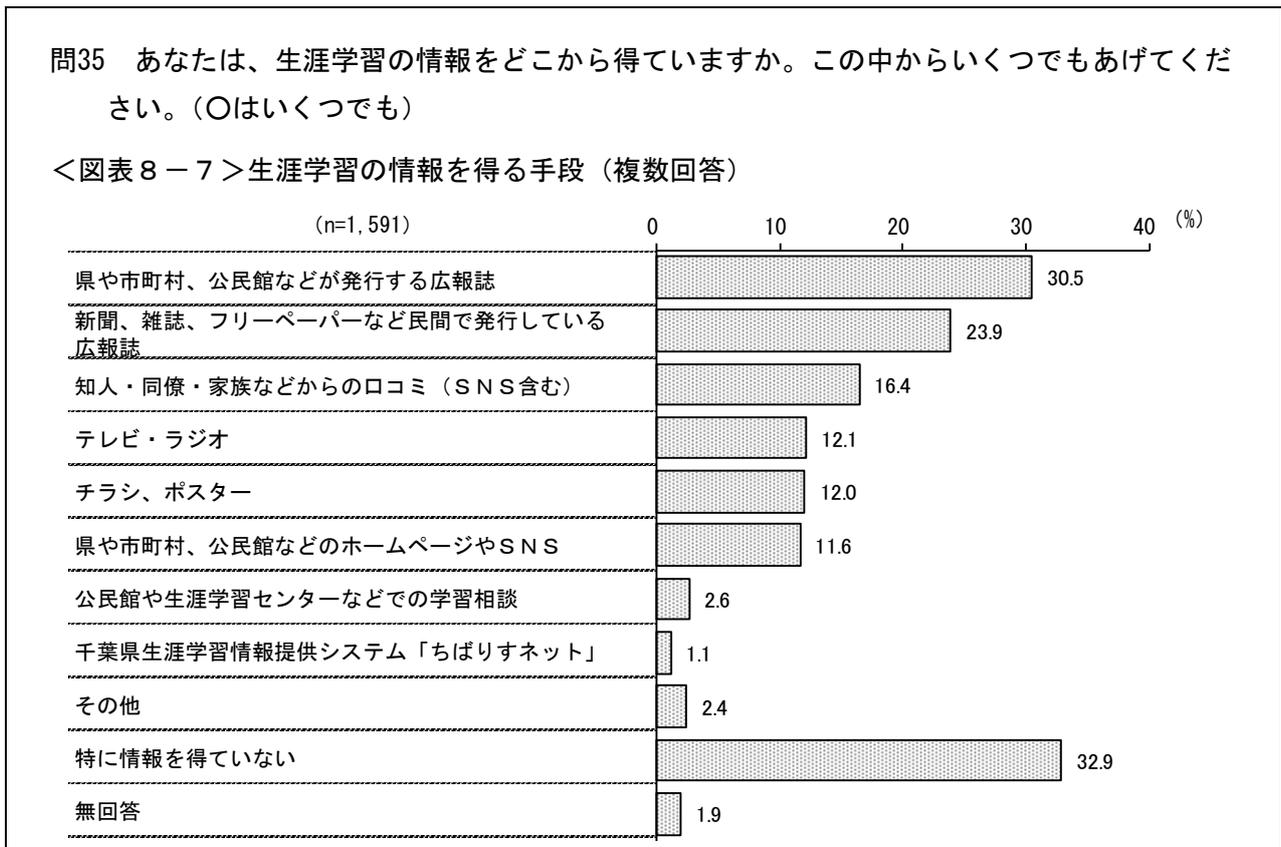


第63回県政に関する世論調査（R4年度）



（２）生涯学習の情報を得る手段

◇「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」が３割



生涯学習の情報を得る手段について聞いたところ、「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」（30.5%）が3割で最も高く、以下、「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」（23.9%）、「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」（16.4%）が続く。

一方、「特に情報を得ていない」（32.9%）が3割を超えている。（図表 8-7）

【地域別】

地域別にみると、「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」は“葛南地域”（27.8%）が約3割で高くなっている。（図表 8-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」は女性の65～69歳（53.2%）と女性の70～74歳（52.5%）が5割を超え、男性の65～69歳（49.3%）と男性の75歳以上（47.8%）が約5割、女性の75歳以上（44.4%）が4割台半ば、男性の70～74歳（42.6%）が4割を超えて高くなっている。

「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」は女性の65～69歳（34.2%）が3割台半ばで高くなっている。

「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」は男性の20代（34.7%）が3割台半ば、女性の20代（30.1%）が3割で高くなっている。（図表 8-8）

